

少子化対策について

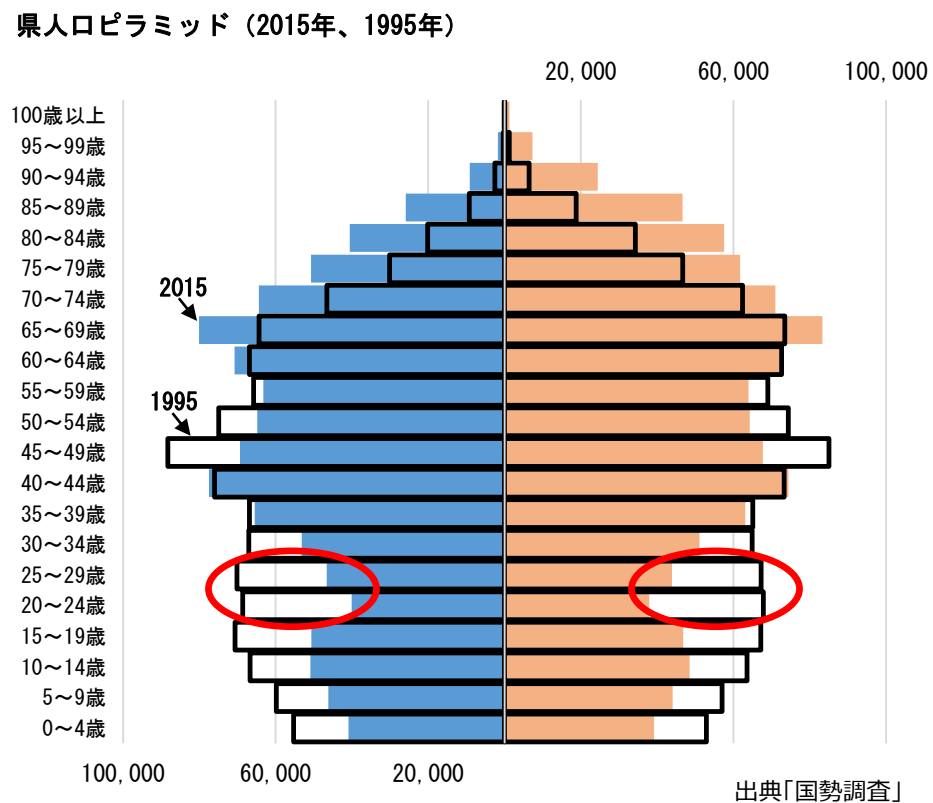
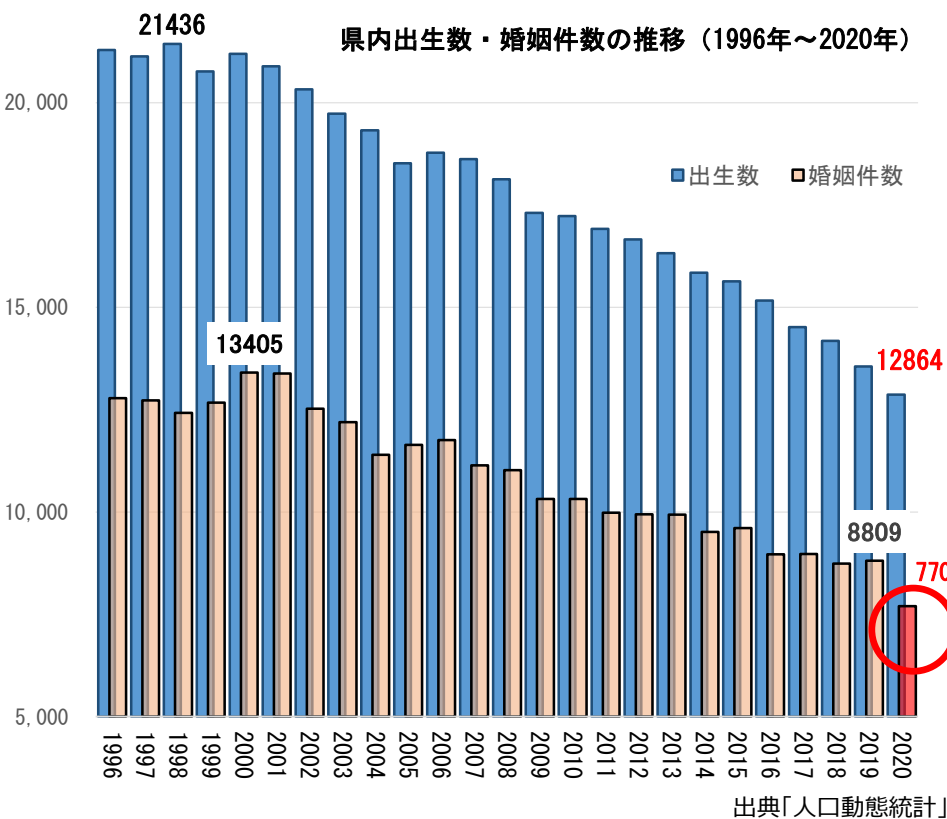
2021年11月24日

長野県県民文化部こども若者局

1 少子化の現状について

- ✓ 本県の**出生数・婚姻数**は、ともに**減少傾向**（出生数は5か年平均で約**4%減**）
- ✓ 特に、2020年の**婚姻件数は前年から約13%の大幅減**。コロナ禍による結婚・妊娠への影響等※から**今後も出生数の大幅減が懸念**
- ✓ 20年前に比べて、30代以下の子育て世代の人口が減少。特に、20代は進学、就職を機とした県外への転出等の影響もあり**大幅減**となっており、少子化に大きな影響

※県アンケート（R3.7）では、感染症の影響で2割強が結婚に後ろ向きに、4割弱が出産に後ろ向きになったと回答



県平均初婚年齢（1975年→2020年）

（男性）27.3歳 → 31.0歳（全国41位）
 （女性）25.2歳 → 29.2歳（全国33位）
 出典「人口動態統計」

20代女性人口（1995年→2015年）

135,147人 → 81,779人（39.5%減）

2 少子化対策の現在の取組について

- ✓ 少子化を乗り越え、更なる進行を食い止めるために、社会全体で更なる対策を推進
- ✓ 県民が安心して子育てできる環境を整えるとともに、県外の子育て世帯や若年層を呼び込むために、魅力ある子育て環境を更に充実

(ライフステージに応じた取組分野)

(県の主な取組)

結婚前



① ライフプランニング支援 …

〔高校・大学でのキャリア教育、ライフプランニング教育など〕

② 移住定住の促進 …

〔移住・交流の推進、県内企業の魅力発信、産官学連携によるインターンシップ推進など〕

結婚支援



① 経済的基盤の安定 …

〔ジョブカフェ信州による若者の雇用の安定、正社員チャレンジへの支援など〕

② 総合的な結婚支援の取組 …

〔AIを活用した新婚活マッチングシステムの導入、コロナ禍でのブライダル事業者支援など〕

③ ライフプランを支える働き方改革 …

〔職場いきいきアドバンスカンパニー制度による職場環境の改善促進など〕

妊娠
出産支援



① 妊娠前からの支援 …

〔不妊・不育症の専門相談体制の整備、体外受精など特定不妊治療への助成など〕

② 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援 …

〔妊娠～子育てほっとラインによる切れ目のない相談・支援体制の整備など〕

③ 安全かつ安心して妊娠・出産できる環境の整備 …

〔コロナ流行下での妊産婦への支援、周産期母子医療センター運営への支援など〕

子育て



① 子育てに関する経済的支援・教育費負担の軽減 …

〔子ども医療費、多子世帯保育料の経済負担軽減への補助など〕

② 子育て環境の充実 …

〔保育士人材バンクによる人材確保、信州やまほいくの推進、放課後児童クラブへの支援など〕

③ 困難を抱える子ども・子育てへの支援 …

〔信州子どもカフェの推進、生活困窮世帯の子どもに対する学習・生活支援など〕

④ 仕事と子育てを両立するための働き方改革 …

〔子育てしやすい職場づくりに取り組む企業のPR、父親の家事・育児参加を支援する冊子作成〕

⑤ 社会全体で子育てを応援する気運の醸成 …

〔子育て支援パスポート事業の普及・促進、「いい育児の日（11/19）」等を通じた理解促進など〕

3 県・市町村「子ども・子育て支援策（子育て支援合同検討チーム報告）」について

(1) 検討の趣旨

これまで「長野県子育て支援戦略（H27～H29）」に沿って、県・市町村ともに子ども・子育て支援策を推進してきたところであるが、幼児教育無償化などの国の支援策が拡充する一方、コロナ禍等による経済的困窮家庭の増加や少子化の更なる進行等、子ども・子育て家庭を取り巻く状況は大きく変化していることから、県と市町村が一体となった子ども・子育て支援施策の拡充を図るため、新たな「子ども・子育て支援策」の策定に向けて、県と市町村との合同検討を実施

(2) 検討の経過

「子育て支援合同検討チーム」において、令和3年1月から11月までの間に7回の検討会議を開催し、5分野31項目に及ぶ支援策の拡充等について議論し取りまとめを行った。

第1回合同検討チーム会議	令和3年1月19日
第2回	令和3年3月25日
第3回	令和3年5月19日
第4回	令和3年6月7日
第5回	令和3年7月8日
第6回	令和3年8月6日
第7回	令和3年11月16日

(3) 検討体制（合同検討チームメンバー）

市長会推薦	長野市	町村会推薦	軽井沢町	長野県市長会 長野県町村会 長野県
	岡谷市		長和町	
	大町市		南箕輪村	
	佐久市		豊丘村	
	東御市		生坂村	
			松川村	
			小布施町	
			野沢温泉村	

(4) 主な検討項目

市町村には住民に身近な基礎自治体として地域の実情に応じた子ども・子育て支援策を推進いただくとともに、県は広域的・専門的な取組のほか、市町村の取組に対する助成、研修等による支援を実施

検討区分	主な支援策（案）	県の取組	市町村の取組
Ⅰ 安心安全な出産・子育て環境の整備	○妊娠期から子育て期まで切れ目なく支援するための相談支援拠点として、「子育て世代包括支援センター」及び「子ども家庭総合支援拠点」の設置	児童相談所を中心としたモデル事業による事例の横展開（R4～）	「子育て世代包括支援センター」・「子ども家庭総合支援拠点」の設置 ＜国庫補助あり＞ 【現状】支援センター設置 72市町村 総合支援拠点設置 31市町村
	妊産婦や父親の心理的ケアのための支援者研修の実施	信州大学周産期のこころの医学講座との連携による市町村保健師等への研修開催（R3～）	
Ⅱ 子育てに優しい職場づくり	子育てしやすい職場環境づくりに取り組む企業のPRと好事例の横展開 父親向け育児ハンドブックの作成	経済団体・企業への働き掛け、市町村との共同制作による県内共通のハンドブックの作成（R3）・展開（R4～）	
Ⅲ 子育ての経済的負担感の軽減	子ども医療費の経済的負担の軽減（市町村福祉医療費給付事業への県助成）	通院について、小学3年生まで県助成を拡充予定（R4～）	（福祉医療費給付事業の実施）
	新生児聴覚検査に係る費用負担の軽減		費用の軽減＜地方交付税措置あり＞ 【現状】助成実施 25市町村
	家庭保育者の一時預かり利用料の軽減（レスパイト支援）	子育て支援総合助成金において市町村が支援事業を実施した場合の助成メニューの新設（R4～）を検討	3歳未満児を家庭で保育している者が一時預かりを利用する場合の利用料の軽減
Ⅳ 子どもの豊かな育ちをサポート	保育現場のICT化の一元的推進		保育事務のICT化（登降園管理や保護者との連絡等）＜国庫補助あり＞
	家庭学習のためのICT環境整備		困窮世帯に対するWi-Fi機器貸出・通信費支援＜地方交付税措置あり＞ 公共施設の無料Wi-Fiの提供 子どもの貧困の状況把握、食事・学習支援等の実施、計画策定
Ⅴ 生きづらさ・困難を抱える子どもへの支援	○子どもの貧困に対する支援策の実施、「子どもの貧困対策計画」の策定	子どもの学習・生活支援事業、信州こどもカフェ運営費補助等の実施（継続）	【現状】対策計画策定 17市町村
	医療的ケア児を支える看護師の保育所・学校への配置、支援者への研修による人材育成	支援者への研修による人材育成、特別支援学校への看護師配置	医療的ケア児を支える看護師の保育所・学校への配置
	ヤングケアラー実態調査、支援体制構築	実態調査、認知度向上の取組等	地域における支援体制構築等

「○」は全ての市町村で共通して取り組む項目

(5) 合同検討を踏まえ、重点的に取り組みたいテーマと方向性（案）

【子どもの医療・健康の安心確保】 医療や検査へのサポートにより子どもの健やかな育ちを支援

- ・ 県と市町村が協調して子どもの医療費の経済的負担を軽減（福祉医療費給付事業の県負担拡大）
- ・ 新生児聴覚検査費用負担軽減、弱視予防「屈折検査」の3歳児健診導入
- ・ 医療的ケア児への支援体制を強化（保育所・学校への看護師配置）

【子育ての孤独解消】 身近な地域で何でも相談でき、必要な支援につなげることで、“孤育てゼロ”を拡大

- ・ 保健・福祉両面で、妊娠から子育てまで切れ目なく相談から支援までを担う包括的体制を全県で整備（子ども家庭総合支援拠点の全市町村設置ほか）
- ・ 妊産婦や父親の心の悩みの解消に向けた支援（信州大学と連携した市町村保健師等の専門性・資質向上）
- ・ 家庭保育への支援の充実（孤立化しがちな家庭保育中の親のレスパイト支援）

【様々な困難を抱える子ども・若者への支援】 声なき声に耳を傾け様々な困難を抱える子どもを支援

- ・ 子どもの貧困に係る取組充実（対策計画の全市町村策定、食事・学習支援（子どもの居場所）の拡大）
- ・ ヤングケアラー支援の充実（実態把握、認知度向上に向けた周知、支援の推進）
- ・ 不登校児童生徒への支援（学校以外の学びの場への支援、支援コーディネーターによるアウトリーチ）

【子どもの育ち・学び応援】 子どもの「豊かな育ち」と「学びたい」を支援

- ・ 幼児教育の充実・質の向上（やまほいく推進、幼児教育支援センターの保育者資質向上、保育ICT化推進）
- ・ ICT等の活用によりいつでもどこでも学べる県づくり（電子図書館協働構築、家庭学習ICT環境の整備）

4 少子化対策における県と市町村との連携について（意見交換）

ご報告させていただいた「**子ども・子育て支援策（子育て支援合同検討チーム報告）**」のほか、

- ・魅力ある子育て環境の更なる充実に向けた、県と市町村が連携した取組
- ・結婚支援など少子化対策につながる県と市町村が連携した取組

について、幅広く意見交換をさせていただきたい